

カレッジ通信

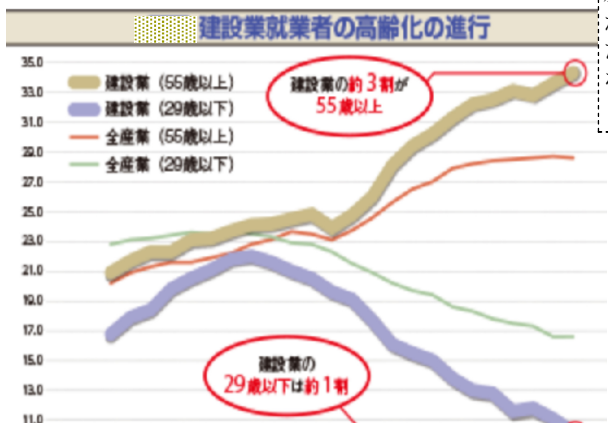
編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎!

TEL 03
(5950)
1771

コロナ禍でカレッジ入学・転職相談が急増中 新規入職者に、安心して働ける就職先を！



就業者全体が高齢化が進む。技能労働者だけだともっと深刻な実態（左は総務省「労働力調査」から）

今、コロナ禍の影響で失職する人が増えています。有効求人倍率の低下が続き、雇用の受け皿として、人不足

建築カレッジを活用し、新人の採用・育成を進めよう

「このままでは包丁研ぎができなくなる日が来る」。本校母体の東京土建一般労働組合は毎年、各地域で開催する「住宅デー」イベントで包丁研ぎを行い、周辺住民に喜ばれています。担い手の高齢化から、包丁研ぎの今後の継続を危ぶむ声が出ています。技術・技能の承継・若手の育成が急務であることを実感します。手道具・手刻みから建築の基礎を教える東京建築カレッジの役割はとて大きくなっています。

が長く建設業が期待されています。働きながら学ぶ仕組みの本校にも転職の相談が目立ってきました。

雇用の力が問われる

「建設業で働きたい」、「建築のプロをめざしたい」と相談に来た人に、安心して働ける就職先を紹介し、本校での学びを提供できるかどうか、今、きびしく問われています。①労働基準法など法令を守り、②東京建築カレッジへの2年間の通学を社員教育として保障する、本校の無料職業紹介所登録事業所はまだ20

本校指導員 赤井立矢さん(13期生)が金賞

全建総連 全国青年技能競技大会 東京予選

「四方転び踏み台」を競技課題とする全建総連 全国青年技能競技大会の東京予選（東京都連 第34回青年技能競技大会）が7月19日、開催されました。グランプリの金賞（東京都知事賞）は、本校指導員で第13期生の赤井立矢さんが受賞しました。銅賞（東京都職業能力開発協会会長賞）は、第17期生の豊島正貴さんでした。赤井さん、豊島さんは9月に群馬県で開催の全国大会に東京代表として出場します。この大会には第23期生の関根祥智さんも出場し奮闘しました。



今回の大会はコロナ禍の影響があり出場選手は8人でした。会場も例年の東京都立多摩職業能力開発センター府中校から高田馬場の全建総連会館に変更し無観客で開催。入場時の健康チェックや検温などコロナウイルス感染予防対策を徹底しました。

＝左写真は、赤井立矢さん

社しかありません。職種も大工職がほとんどであり、求職者から人気の高い設計職やCAD（コンピュータ支援設計）など他職種で登録事業所が増えることが今後期待されています。本校を活用し、これからの建築業を担う人材を育てようという意欲のある事業主さんからの問い合わせ、新規登録を歓迎します。

「せっかく雇ってもすぐやめてしまう」。早期離職の理由の一つに気軽に話せる同世代の仲間が現場で少ないことがあります。建築カレッジの良いところは、これからプロとして成長しようと頑張るたくさんの方に出会えること。入職者の定着率を上げるためにも、新人育成で本校の活用をお勧めします。ご相談はお気軽に！

『カレッジ通信』バックナンバーが読めます

学校公式サイトでは、東京建築カレッジの広報紙『カレッジ通信』のバックナンバーが読めます。貴重な教育実践、研修生の生き生きとした姿を、実感していただくために、この学校のことを多くの方に知ってもらうため、毎月出しています。



学校公式
サイトへの
アクセス

2年生の授業から

木の魅力を語れる人をめざそう

7月25日（土）、2年生（第24期生）の「林業研修」が行われました。埼玉県飯能市の林業家、井上淳治さんの全面協力です。毎年行っている下草刈り体験と共に、井上さんが管理する山

林を歩き、長い年月をかけて木を育て、自然を見守る林業の大切さを学びました。今年も前日に事前講義を受けました。井上さんは「君たちが木の魅力を語れる建築従事者に成長することがとても大事なんだ」と熱く語りました。

一方、松田紘講師の「構造力学演習」では、構造とデザインの関係を感じさせる教育実践が行われました（右写真）。



大切に育てた山林で国内林業の現実と課題を語る井上さん



「建築設計製図 I A」

1年生（第25期生）は「基礎製図」が修了し「建築設計製図 I A」が始まりました。

1年生の授業から

た（左写真）。8月1日（土）の授業では「実習棟実習」との連携も考慮に入れ、実習棟の模型作り。基礎製図で学んだ各図面が実際の立体になるとどの部分にあたるのか、理解しやすくするための工夫です。

ノギスの使い方も教わる



「構造力学演習」

「建築材料実験」では、様々な材料の物性を学習した後、圧縮、引っ張り実験で確かめます。コンクリートは調合設計から学び、自分たちで製作します。実験で得た結果の正確な記録、定型的な科学レポートを完成させることも求めます。



「建築材料実験」

実験結果レポートの書き方も学習

第1回学校説明会は8月26日（水）

会場は池袋校舎

◎昼の部:午後2時から ◎夜の部:午後7時から

新人の採用・育成でカレッジ活用を検討中の中小建設事業主のご参加を歓迎します。

「人材開発支援助成金」など職業訓練にたいする国の支援についても説明します。

感染予防のため人数制限があります。参加希望の方は事前にご連絡ください。☎03-5950-1771

今年の1年生は建築士試験への挑戦を考えている人が多いので、8月1日（土）終礼時に、一級建築士の関昌彦講師（第2期生、下写真）、二級建築士の西岡貴之教務部長によるミニレクチャーが臨時に行われました。関講師は過去問題を徹底してやることの大切さを強調しました。西岡教務部長は学科試験は準備講習会への集中だけで突破できたが、製図試験は複数回挑戦せざるを得なかった苦学体験を披露しました。

建築士受験のためのミニレクチャー

